



健康チェックデー ～はかって、わかって、きづいて、健康にかわる～

## さまざまな角度から健康をチェック

町は11月24日、紀宝町保健センターにおいて、「健康チェックデー～はかって、わかって、きづいて、健康にかわる～」を開催しました。

これは、自分の体をさまざまな角度からチェックすることで、今の自分の体の状態を客観的に知ってもらい、生活改善に役立ててもらおうことを目的に開催されたものです。

歯と口の健診・こころの健康度チェック・血液検査・骨健康度測定・血液サラサラ度チェックなどのほか、ハンドマッサージ、子育て中のお母さん方によるフリーマーケットも同時開催され、来場した約350名の参加者たちは気軽に楽しく、健康チェックを行っていました。

01. 体力測定コーナー。02. 脳機能チェック。03. マッサージによるフリーマーケット。

Town topics

11/24



民生委員として尽力

## 小田原徳子さんに瑞宝単光章

元紀宝町民生委員・児童委員の小田原徳子さんが、令和元年度叙勲において、瑞宝単光章を受章されました。

小田原さんは民生委員を約31年間務められ、地域に住む方々の相談を受けるなど、地域住民の福祉の充実と向上に努められました。

小田原さんは受章に際し、「仲間の代表としていただくという気持ち」と話していました。

(写真) 瑞宝単光章を受章した小田原さん

町の公衆衛生向上に貢献

## 須川洋一さんに厚生労働大臣表彰

歯科医師の須川洋一さんが、令和元年度歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰を受けました。

須川さんは昭和61年に歯科医院を開設し、その後は学校歯科医として約30年間寄与され、現在も地域住民から親しまれています。

また、歯科保健のみならず、地域の保健対策協議会委員や地域包括ケア会議委員など、多くの会議や事業に参加し、町に貢献されました。

(写真) 厚生労働大臣表彰を受けた須川さん



人権問題について語る松村さん

人権講演会を開催

## 「ネットと部落差別」をテーマに考える

町教育委員会は11月25日、まなびの郷で、公益財団法人反差別・人権研究所みえ事務局長の松村元樹さんを招き、「ネットと部落差別」をテーマに人権講演会を開催しました。

これは、人権意識を高め、正しい理解と認識を深めることを目的に実施したものです。

講演会には約300人が来場し、各種差別の問題の解決に向けて理解を深めました。松村さんは、「放置できる、放っておけばなくなるという考えがあるが、差別問題に取り組まないことは、差別に加担し、容認することにつながっている」と話していました。

Town topics

11/25

遺構や出土遺物などについて説明

## 鶺鴒殿西遺跡の現地説明会を開催

三重県埋蔵文化財センターは11月30日、鶺鴒殿西遺跡の発掘現場で現地説明会を開催しました。

鶺鴒殿西遺跡は、熊野川河口部の北岸にある砂堆上にある遺跡で、今回の説明会では、鎌倉時代から室町時代にかけて作られた南北10.7m、東西12.8mの掘立柱建物や、長さ50m以上、幅4m、深さ0.9m以上の大溝などについて解説されました。

また、遺跡からは現在の愛知、兵庫、岡山、長崎など日本全国で作られた陶器が出土されており、鶺鴒殿が熊野川の河口にある玄関口として機能し、陸上および河川交通の要所であったことがうかがえると説明されていました。

参加者たちは同センター職員の説明に興味深く聞きながら、出土した陶器に触れ、人の営みの積み重ねに思いをはせていました。

Town topics

11/30



01. 大溝の中に立って解説するセンター職員。02. 陶器に触れる参加者。



藤崎町の一大イベント「ふじさき秋まつり」に参加

## 藤崎町との地域間連携を深める

町は11月16日・17日に、地方と地方の町同士を特産品で直接結ぶ「ローカル to ローカル新連携プロジェクト」の推進のため、青森県藤崎町の「ふじさき秋まつり」に昨年に引き続き参加しました。

イベントには、2日間を通して約18,000人の来場者が訪れ、紀宝町のブースでは、販売した温州みかんやマイヤーレモン、みかんジュース、マイヤーレモンの加工品などが完売しました。特に温州みかんは好評で、購入された方の中には、昨年も購入された方も多く、紀宝町の柑橘ファンが増えていくことがうかがえました。

今後も、りんごとみかんの物産交流を中心に、藤崎町との連携を深めていきます。



大人気だった温州みかん

Town topics

11/16・17